

Minami Kyushu University Syllabus						
シラバス年度	2023年度	園芸キャンパス		都城キャンパス		
科目名称	園芸育種学特別実験			実務経験	○	Active・L ○
科目コード	622100	単位数	12単位	学位授与方針との関連	DP1	
教員氏名	杉田 亘					
授業概要	<p>修士論文の研究課題を次の項目から選択します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 園芸作物に係る新規遺伝形質の探索および遺伝様式の解明 園芸作物に係る抵抗性育種および新規系統の育成 園芸作物に係る分子遺伝学的研究と遺伝解析 <p>選択した研究課題に取り組み修士論文を完成させます。</p>					
関連する科目	園芸育種学特論Ⅰ、園芸育種学特論Ⅱ、園芸育種学特別演習Ⅰ、園芸育種学特別演習Ⅱを履修することが望ましい。					
授業の方法と進め方	研究課題について、研究背景、現状および課題について情報を収集し、研究計画や実験データの取りまとめ方法、進捗状況などについて担当教員と議論し取り組みます。					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ガイダンス： 授業概要および修士論文の作成について説明します。 修士論文テーマ選定： 現状と課題について調査します。 関連論文の検索・収集： 研究に関連した論文の検索および収集を行います。 関連論文の精査： 新規性、科学性、社会的および研究背景について調査します。 関連論文の精査： 抵抗性、新規形質、遺伝様式、育種について調査します。 実験計画書の作成： 研究の実施計画書を作成します。 実験計画書の精査： 実施計画書を精査します。 実験材料の入手・確認・調製・保存： 実験材料について調査・入手します。 新規有用形質の探索： 有用形質の評価を行います。 抵抗性評価法の開発： 抵抗性の評価法について確認します。 遺伝資源の探索： 利用可能な遺伝資源の探索を実施します。 分離集団の育成： 交配による分離集団の育成を行います。 分離集団における形質評価： 分離集団を用いた形質の評価を行います。 分離集団における遺伝： 形質の評価結果に基づき、遺伝様式を推定します。 修士論文研究経過報告： 修士論文研究の途中経過報告会を実施します。 学会発表準備： 学会発表データの取りまとめを行います。 学会発表準備： 学会発表関連資料を取りまとめます。 学会発表総括： 研究の方向性の精査を行います。 マーカー遺伝子型の確認： 分離集団におけるマーカー遺伝子型の確認・開発を行います。 DNAマーカーの分離集団への適用： DNAマーカーによる集団の評価を行います。 DNAマーカーおよび表現型による系統選抜： DNAマーカーによる系統の選抜を行います。 新規遺伝子関連領域の絞り込み： 目標遺伝子領域の推定および絞り込みを行います。 新規DNAマーカーの探索： 各種手法による新規DNAマーカーの探索を行います。 修士論文作成（素案）： 修士論文の素案を作成します。 追加実験データの取得： 追加データを取得します。 修士論文作成（初稿）： 修士論文原稿を作成します。 修士論文作成： 構成： 修士論文の修正を行います。 修士論文発表会準備： 修士論文発表の準備を行います。 修士論文作成（最終稿）： 修士論文を提出します。 総括： 本授業に関連した総合討議を行います。 					
授業の達成目標	修士論文を作成するための情報収集や実験計画策定、実験手法、データ解析、考察等の能力を修得し、修士論文を完成させます。					
授業時間外の学修	修士論文を作成するため、研究テーマに関する現状、課題、対策、既存研究等に関する論文を調査・精読し、内容を把握します。担当教員への連絡を密にして、研究計画に対する進捗状況や研究の方向性などについて議論を深めます。					
課題に対するフィードバック	進捗状況や研究の方向性などについて担当教員と議論し、研究の方向性について検討します。	評価方法・基準		修士論文の新規性、内容、取り組み態度などを取り組み総合的評価とします。取り組み総合評価（30点）と修士論文の完成度（70点）で採点します。		
テキスト	理解度に応じて必要な資料を配布します。					

参考書	研究テーマに関する教科書、論文
備考	